



新任教員からのごあいさつ

○市田 克利 教授

今年度より、京都教育大学附属高校から配置換えて、教職キャリア高度化センターに着任しました市田克利です。

私は高校教員として、京都府立高校に6年、京都教育大学附属高校に28年勤めてきました。京都教育大学には、在学時を含め32年間もお世話になっています。教科は理科で主に化学を担当し、附属高校では長年SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取組も行ってきました。

本センターでは教員養成支援として、実地教育支援・学校ボランティアを主に担当します。学生の皆さんとは附属学校園で行われる教育実習をはじめ、実践基礎演習等に関わることが多いかと思えます。本学附属学校で勤務してきたことを生かし、大学と附属との連携を深めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

○梶山 直美 准教授

4月から教職キャリア高度化センターに参りました梶山直美です。この3月までは京都府教育庁指導部学校教育課に勤務しておりました。三十年ほど前、本学の体育学科の学生として仲間と共に教職に就くための力を養いながら充実した学生生活を過ごした日々は大変懐かしく、母校に赴任してきたことを大変有難いと嬉しく感じます。二十数年の小学校での経験を活かしながら、教育の未来を担っていく学生の皆さんが、子ども、保護者、地域、そして同僚から信頼される教員になっていくよう精いっぱい努めたいです。教育を取り巻く現状が目まぐるしく変化している中、私も皆さんと共に学びながら成長していこうと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○福間 拓 准教授

この4月より京都市教育委員会より特命教員として勤務することになりました福間と申します。この3月まで京都市立小学校の教頭として勤務しておりました。また、平成25年度には大学院連合教職実践研究科で学ばせていただきました。この度、この伝統のある京都教育大学で勤務させていただくことになり喜びを感じております。

これからの時代を力強く、また、笑顔と自主性をもち生きていく児童、生徒を教育する教員の仕事について、仕事の魅力や厳しさ、やり甲斐などを授業やセミナー等で学生に伝えていきたいと思えます。そして、京都教育大学の教育の充実に少しでも寄与できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

センター担当の新副学長からごあいさつ

○浅井 和行 理事・副学長(総務・企画担当)

教職キャリア高度化センターでは、これまで「先生を“究める”Web講義」など、学生や新規採用教員から現職教員まで幅広く教職支援を行ってこられました。

私自身も本学で仕事を始めたのは、本センターの前身である教育実践総合センターのリカレント教育分野でしたので、本センターの役割と実践内容の素晴らしいことはよく存じております。

今、大学は、新型コロナウイルス感染症への対応に追われています。教育の実践が困難な状況においては、平常時より本センターの役割が問われる時だと思えます。大学と教育委員会の連携のもと、京都の教員養成や現職教員研修の高度化に寄与していただきますようお願いいたします。



幼児教育専攻のみなさんの作成による壁面飾り
(センター機構棟の入口)

令和元年度の事業報告及び令和2年度の協力依頼

教職キャリア高度化センターは、現職教員を支援する教職支援拠点と学生・院生を支援する教員養成支援拠点からなっています。特に教職支援拠点の取り組みとして、学び続ける教員のためのシンポジウムや講演会、京都府教育委員会、京都市教育委員会との連携講座、Webビデオコンテンツの提供などの事業を推進してまいりました。平成29年度からは、京都府北部の丹後地域の教員研修支援も進めております。本年度からは中丹地域にも支援を拡充する予定です。これまででも何人もの先生方に教員研修の講師として出向いただきました。本年度は事業の拡充に伴い、さらに多くの先生方にお力添えをいただきたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

講演会「学び続ける教員へのメッセージ」の報告

教職キャリア高度化センターでは、「学び続ける教員へのメッセージ」として、講演会を2020年2月22日（土）に実施しました。講師には早稲田大学の河村茂雄氏をお招きし、「学級集団の育成と学力向上」というテーマでお話をいただきました。

講演では、これからの社会で求められる資質・能力とは何か、また、それを育成していくためにはどのような学級集団が望ましいのかについて、お話をされました。なかでも、学習意欲は学級集団に大きく左右されることがデータをもとに示されました。それぞれの学級集団の状態の段階を見極め、実態に応じて向上させていくことの重要性が提起されました。

参加者数は203名でした。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

先生を“究める”Web講義の新システム移行について

令和2年4月1日から、「先生を“究める”Web講義」が新システムに移行しました。

「先生を“究める”Web講義」は、地域の現職教員の資質向上のため、本学の教員の皆様の専門的な理論や知見をもとに、様々な教育課題等をテーマとした講義動画を撮影・制作し、Webサービスにより京都府・市をはじめとした現職教員に提供するものです。

これを、自己研鑽、校内研修、教育委員会主催研修、教員免許更新講習などにおいて活用することで、学び続ける教員を支援するとともに、教員の働き方改革にも貢献しています。

今後とも本学の教員の皆様には、講義動画の撮影等について、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新システムでは、スマートフォンで視聴できるようになったほか、操作性や検索性が向上し、より使いやすくなりましたので、大学及び附属学校の皆様にもご覧いただければ幸いです。使い方や、ユーザーID、パスワードの発行等については、本学教職キャリア高度化センターHPをご確認ください。

(<https://www.kyokyo-u.ac.jp/Cece/2018/06/web-lecture.html#content>)

所属教員

センター長	植山 俊宏
センター次長	市田 克利
	高柳 真人
専任教員	富永 吉喜
	中垣 ますみ
	初田 幸隆
	樋口 とみ子
	相山 直美
	福間 拓
兼任教員	相澤 雅文
	村上 忠幸
	小山 宏之

連絡先

ボランティアオフィス	075-644-8336
(月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30)	
スポーツ指導者養成オフィス	075-644-8143
(月～金 10:00～13:00、14:00～15:00)	
事務担当	075-644-8276/8117
(研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ)	

